

新青丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-25-6 次研究航海
- * 航海名称 (和文) ドローン・ブイ・船上自動観測装置の統合的利用による海面スリックの分布・形成過程の実態解明
(英文) Elucidation of the distribution and formation processes of sea surface slicks through the integrated use of drones, buoys, and shipboard automatic observation devices
- * 観測海域 (和文) 日本海東部
(英文) Eastern Sea of Japan
- * 航海期間 令和 7 年 7 月 6 日 (日) ~ 令和 7 年 7 月 16 日 (水)
- * 出港日時・場所 7 月 6 日 10 時 函館港
- * 入港日時・場所 7 月 16 日 10 時 函館港
- * 寄港期間・場所 無し
- * 研究課題 ドローン・ブイ・船上自動観測装置の統合的利用による海面スリックの分布・形成過程の実態解明
- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
小松幸生・東京大学大気海洋研究所・准教授・kosei@aori.u-tokyo.ac.jp
- * 研究内容、主調査者 (e-mail アドレス)、観測項目
1. 海面スリックの分布・形成過程の実態解明
小松幸生 (kosei@aori.u-tokyo.ac.jp)
空中ドローン、水中ドローン、小型多項目ブイ、H-ADCP
 2. 対馬暖流横断面における洋上水蒸気量の微細分布構造の実態解明
吉田 聰 (yoshida.akira.4z@kyoto-u.ac.jp)
気象ラジオゾンデ、GNSS、マイクロ波放射計、全天雲カメラ
 3. 海面スリック内外における海表面マイクロ層の特性解明
濱崎恒二 (hamasaki@aori.u-tokyo.ac.jp)
ドラムサンプラー、ニスキントル採水、水温・塩分計、風速計
 4. 大気・海洋間の乱流フラックスの実態解明
近藤文義 (fkondo@jcg.a.ac.jp)
大気海洋間乱流フラックス計、航海用レーダ波浪計、ドップラー波高計
 5. 対馬暖流横断面における海洋構造と洋上水蒸気輸送過程の関係解明
小松幸生 (kosei@aori.u-tokyo.ac.jp)
CTD/LADCP、採水、XCTD
 6. 鳥山の形成と海洋環境との関係、及び個体間・集団間の相互作用の実態解明
井上漱太 (sota.ineo@gmail.com)
空中ドローン

* 乗船研究者氏名・所属・職名

小松幸生・東京大学大気海洋研究所・准教授
吉田 聰・京都大学防災研究所・准教授
濱崎恒二・東京大学大気海洋研究所・教授
近藤文義・海上保安大学校・教授
菅井洋太・東京大学大気海洋研究所・特任研究員
岡本諭賢・東京大学大気海洋研究所・大学院生
土屋 裕・東京大学大気海洋研究所・大学院生
井上漱太・名古屋大学大学院環境学研究科・特任助教
杉山響己・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院生
Kim Jeongho・名古屋大学大学院環境学研究科・大学院生
Tonga Leia Pauline Sagisi・東北大学大学院理学研究科・大学院生
鹿野友渚・筑波大学大学院生命環境科学研究科・大学院生
土井俊弘・明治大学農学部・研究推進員
寺田雄亮・海洋研究開発機構付加価値情報創生部門・PD 研究員

* 航跡・測点図

